

## 9-2 内陸部の地震空白域における地殻変動連続観測

### Continuous Observations of Crustal Deformations in and around Intraplate Seismic Gaps

気象庁 気象研究所

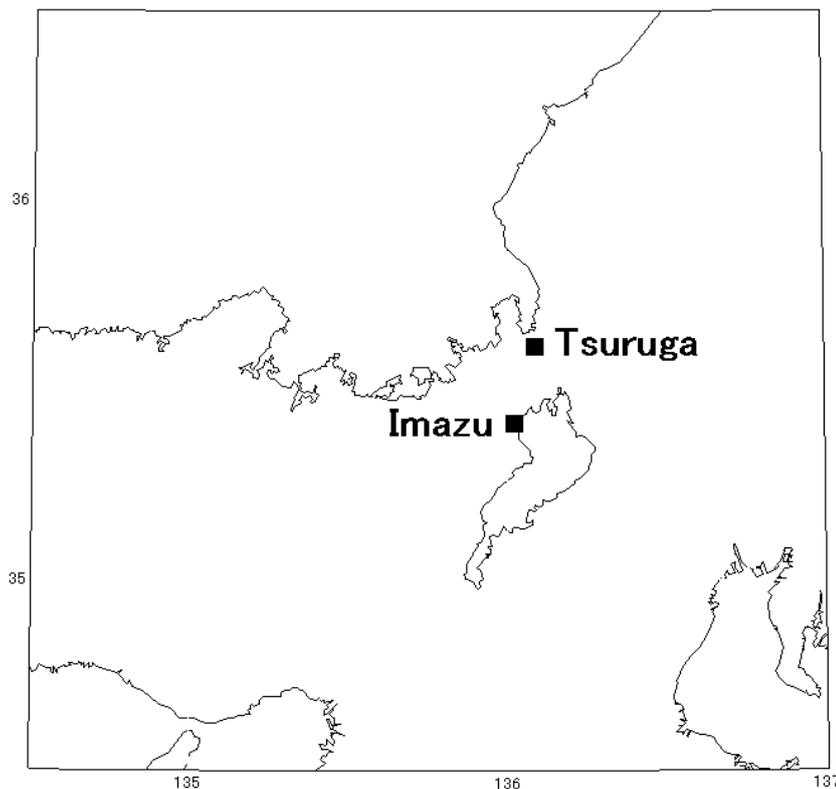
Meteorological Research Institute, JMA

気象研究所では、いわゆる「内陸部の地震空白域」の調査研究のため、近畿地方の今津（滋賀県高島市、 $35^{\circ} 25' 18''$  N,  $136^{\circ} 00' 52''$  E）および敦賀（福井県敦賀市 $35^{\circ} 37' 04''$  N,  $136^{\circ} 04' 12''$  E）に石井式三成分歪計・傾斜計からなる地殻変動観測施設を設置し（第1図）、1996年5月より連続観測を行っている。

第2, 3図に今津・敦賀観測点の2005年5月1日～2008年4月30日の3年間、および2007年11月1日～2008年4月30日の6ヶ月間の観測データ（時間値）をそれぞれ示す。

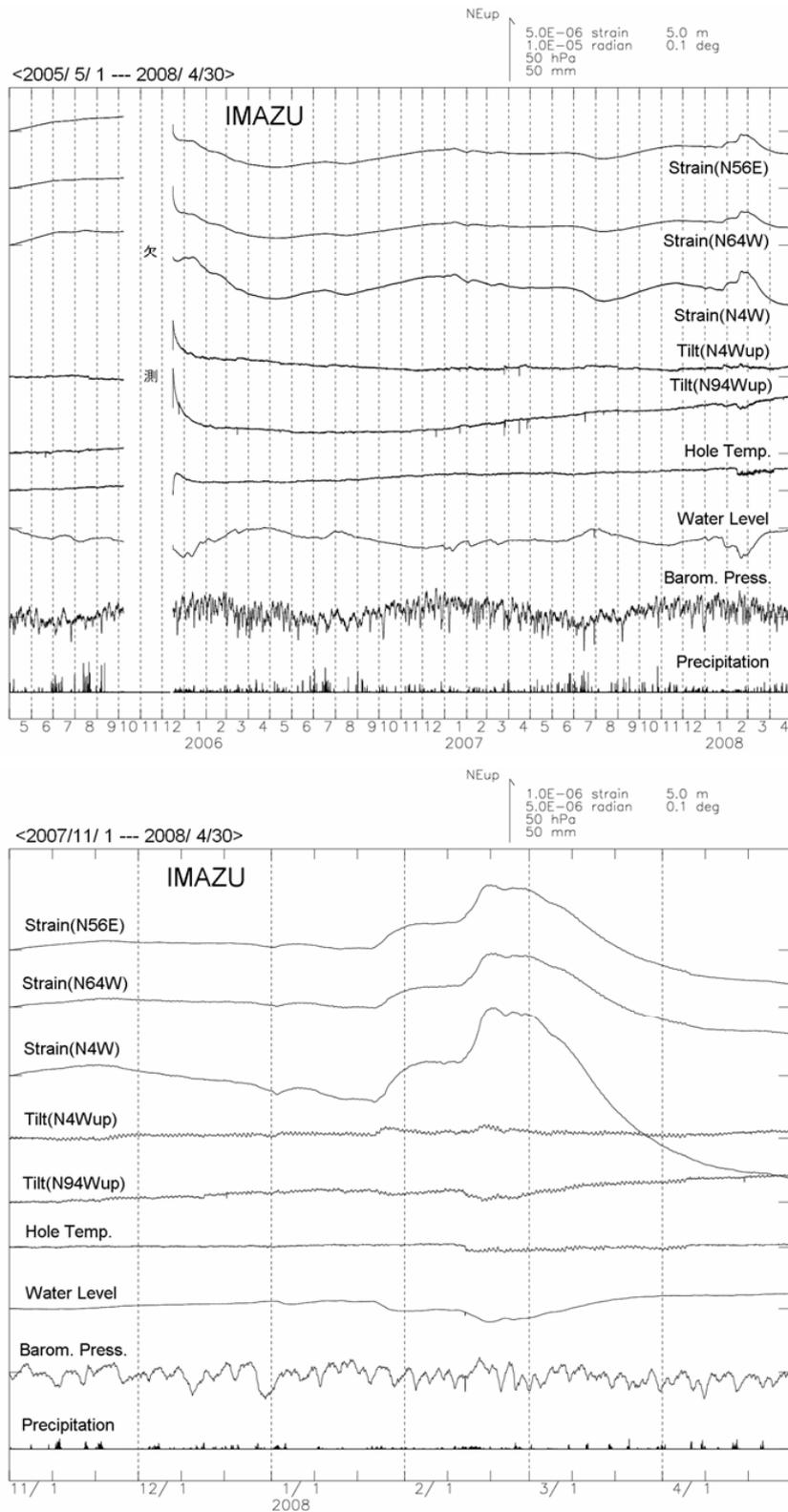
#### 参 考 文 献

- 1) 気象研究所, 内陸部の地震空白域における地殻変動観測, 連絡会報, 57 (1997), 554-558.
- 2) 気象研究所, 内陸部の地震空白域における地殻変動連続観測, 連絡会報, 61 (1999), 428-432.
- 3) 気象研究所, 内陸部の地震空白域における地殻変動連続観測, 連絡会報, 64 (2000), 351-354.
- 4) 気象研究所, 内陸部の地震空白域における地殻変動連続観測, 連絡会報, 69 (2003), 445-447.
- 5) 気象研究所, 内陸部の地震空白域における地殻変動連続観測, 連絡会報, 74 (2005), 394-396.



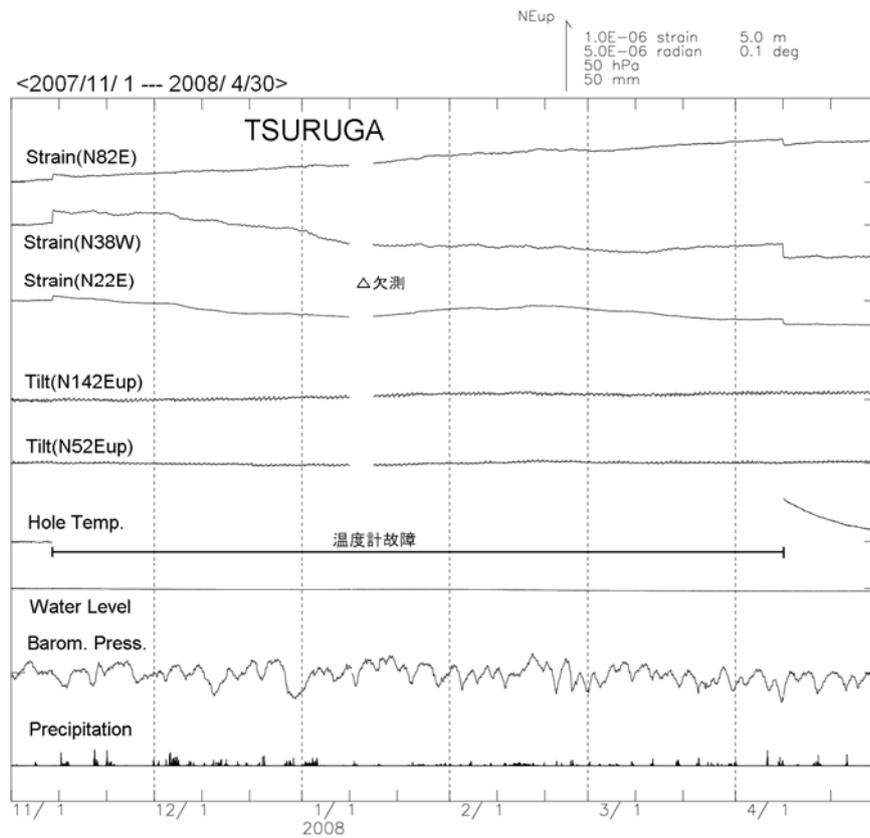
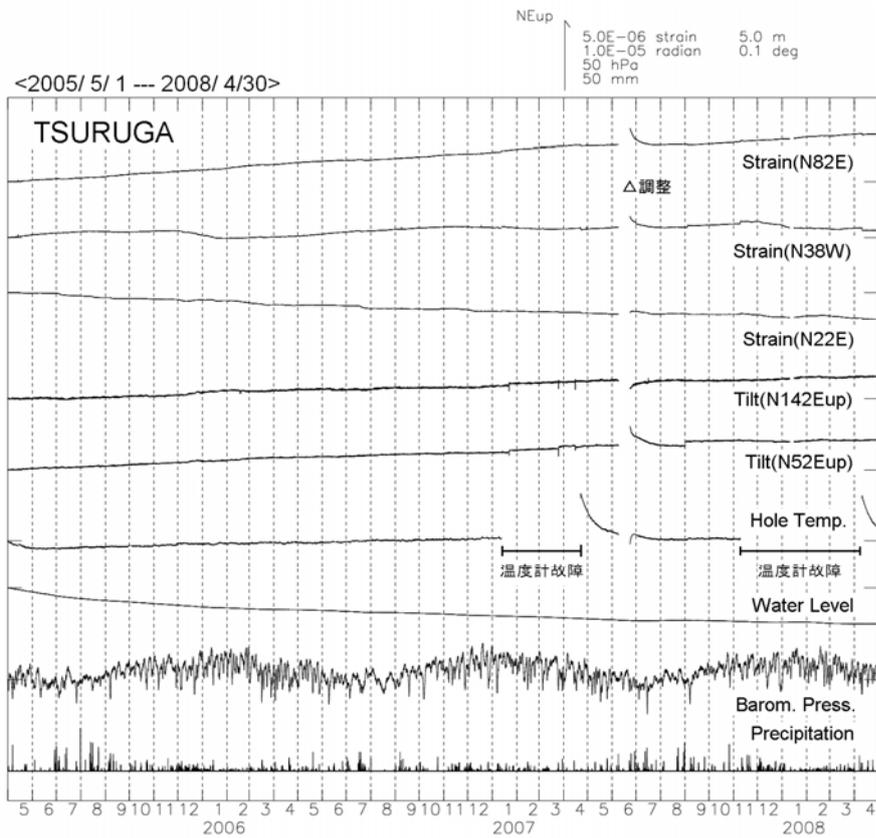
第1図 今津・敦賀観測点の位置

Fig.1 Location map of crustal deformation observation stations (Imazu and Tsuruga)



第2図 今津観測点における(上) 2005年5月～2008年4月、(下)2007年11月～2008年4月の歪・傾斜変化(時間値)。2005年10月から12月中旬の欠測は電源・収録装置の故障のため。2008年1月下旬から3月の歪・水位変化は、観測点付近の融雪のための地下水汲み上げに伴うもの。

Fig.2 (Upper) Changes of crustal strain and tilt at Imazu from May 2005 to Apr. 2008. (Lower) Changes of them from Nov. 2007 to Apr. 2008. Data from Oct. to the middle of Dec. 2005 were lost by troubles of the power and the recording instruments. Strain and water level changes from the end of Jan. to Mar. 2008 were caused by the pumping of groundwater for snow melting near the station.



第3図 敦賀観測点における(上) 2005年5月～2008年4月、(下)2007年11月～2008年4月の歪・傾斜変化(時間値)。2007年1月、4月、11月、2008年4月の歪変化は温度計故障のため。

Fig.3 (Upper) Changes of crustal strain and tilt at Tsuruga from May 2005 to Apr. 2008. (Lower) Changes of them from Nov. 2007 to Apr. 2008. Step-like strain changes of Jan. 2007, Apr. 2007, Nov. 2007 and Apr. 2008 were caused by troubles of the thermometer.